

## 2019年度新規採用予定者内定式について

2018年10月1日  
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、2018年10月1日（月）13時30分から、国立研究所において、「2019年度新規採用予定者内定式」を行いましたのでお知らせいたします。

内定式では、経営幹部立ち会いのもと、鉄道総研理事長 熊谷則道 から新規採用予定者22名ひとりひとりに内定通知書が手渡されました。引き続き、採用予定者は理事長から激励の言葉を受けました。



写真 内定通知書を受け取る内定者

### 理事長 激励の言葉要旨

本日、この場で22名の方に内定通知書をお渡しできることに感謝を申し上げたいと思います。こうして元気で皆様とお会いできるのを楽しみにしていました。本日は10時から内定式を行う予定でしたが、2日前からの台風24号の影響で交通機関もたいへん影響を受けました。皆様にとっては、自然災害が生じた際の鉄道の役割というのを考える一つの切っ掛けになったのではないかと思います。本日は三つのことを皆さんにお伝えしたと思います。

一つ目は基礎力をつけて頂きたいということです。少し広い話になりますが、日本の大学の全世界の中での位置づけが下がったり、一部は上がったりしています。大学で学位をとって社会に出てくる方達の学力が、もし下降気味であるとするならば将来日本にとって大変なことになるなと思っています。そのために皆様方、一人ひとり基礎力をつけてもらいたい。現在、修士論文、博士論文を執筆中だと思いますが、もう一回、自分の研究の基礎となっている基礎力について振り返ってもらえればと思います。

二つ目は研究の信念をもって頂きたいということです。研究をしている過程では、とにかく実験がうまくいかないとか、理論式が解けないとか、悩みは尽きないとは思いますが、けれども、ただひたすらこれ

はできるんだという信念、ぜったいやり遂げるんだという気概が大事であります。このような信念と気概をぜひ持っていただきたい。

三つ目は、鉄道というものをユーザーとしてウォッチして頂きたい。鉄道に関してはインターネットや新聞などにたくさんの情報があります。これらの情報をもとに是非ユーザーとして厳しく、かつ客観的な目で鉄道をウォッチして頂きたい。批判的な目、好意的な目、色々な角度からウォッチして頂きたい。特に鉄道はお客様や物を安全に輸送するという事を最大の使命にしています。安全という観点、安心という観点から鉄道をしっかり見て頂きたいと思います。

最後に、まずは健康で2月、3月で仕上げていただく修士論文、ドクター論文をきっちり仕上げ、鉄道総研に来ていただくという事を、ここに並ぶ役員全員、期待をしております。頑張ってください。



写真 激励の言葉を贈る熊谷理事長